

問われる小沢「錬金術」

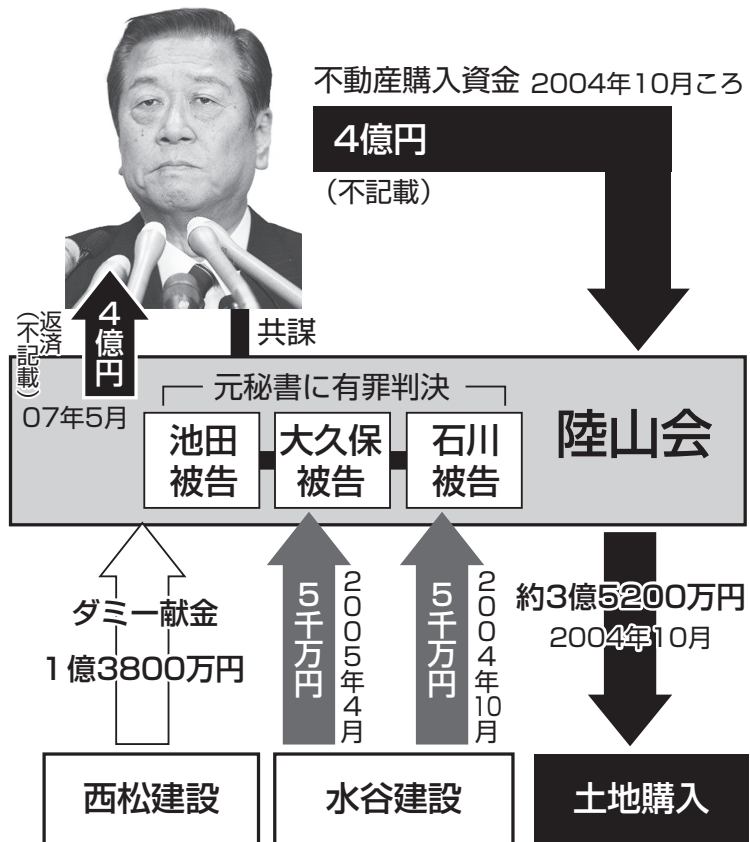
核心はゼネコン裏献金

資金管理団体「陸山会」の土地購入をめくり、政治資金規正法違反容疑で強制起訴された民主党元代表、小沢一郎被告の公判が始まりました。

疑惑の核心は、土地購入の原資4億円の出所。「ゼネコンからの裏献金が含まれているのでは?」ということです。

●公共事業を食い物

元秘書3人への東京地裁判決（9月26日）では、胆沢ダム（岩手県）建設にからむ水谷建設からの1億円裏献金、西松建設のダミー（隠れみの）政治団体による献金も認定されました。公判では、公共事業を食い物にしてきた小沢流「錬金術」が問われます。



小沢氏「潔白」いうなら喚問応じよ

小沢氏は、「三権分立」「司法の独立」を盾に国会での説明を拒否しています。司法は、証拠に基づき犯罪か否かを判断する場、国会は疑惑の真相を究明し、政治的・道義的責任を明らかにする場です。小沢氏は、“疑惑を持たれた政

治家は、自ら国会の場で疑惑を晴らすべきだ”という「政治倫理綱領」を国会で策定した、その本人です。

潔白だと自信を持って疑惑を否定できるなら、何よりもまず国会での証人喚問に応じるべきです。

原発「埋蔵金」で除染・賠償を



野田佳彦首相と会談する志位和夫委員長(左) 11月7日、首相官邸

福島原発災害の除染と賠償の費用は、政府想定の数兆円よりはるかに巨額になるとみられています。その財源をどうするか。日本共産党の志位和夫委員長は、野田首相との会談で提案しました。

●電力会社・大企業に負担を

電力業界は「使用済み核燃料再処理等積立金」をはじめ約19兆円を積み立てる計画で、すでに4.8兆円もため込んでいます。志位さんの提案は▽「原発賠償・除染・廃炉基金」を創設し、この「積

立金」を財源として活用する▽「基金」には原発ビジネスで大もうけしてきた大企業にも負担を求め、などです。

●タブーにメス

「積立金」は、原発と核燃料サイクル計画推進のため、これまでタブーとなってきた“埋蔵金”です。首相は提案の「検討」を表明しました。

志位委員長提案に首相「検討」

日本共産党